

高校留学体験談		カナダ		 	 	
語学学校:2週間(バンクーバー)+高校:6ヶ月(パウエルリバー)		聖ウルスラ学院英智高等学校 K.K.さん				
<p>Q. 高校留学しようと思ったきっかけは？</p> <p>中3のときの英語の先生が授業で留学の話をしていて、視野に入れはじめました。実際に高校留学を決めたのは高1の時、通っている高校が留学に対して柔軟ということを知ったからです。</p>	<p>Q. 留学前の英語力は？</p> <p>英検3級です。到着したばかりの頃は英語を話すのに慣れていなかったのですが、英語で話しかけることに戸惑いました。</p>	<p>Q. 高校開始前に語学学校をつけてよかった？</p> <p>とても良かったです。異文化交流ができて、外国人と話すこともできました。高校にすぐ行くのではなく、まずは現地の生活や英語に慣れることができました。</p>	<p>Q. 印象深い思い出は？</p> <p>夏にパウエルリバーの湖の上で過ごしたことです。湖の上にロッジを持っていて、1泊泊まりました。BBQや釣り等をして過ごし、水上バイクにも乗りました。湖の水際にたくさんのロッジが建っていました。</p>			
<p>Q. 高校の1日はどんな感じ？</p> <p>7:30 起床 8:40 バス 9:00 学校到着 &amp; 授業 12:00 ランチ(カフェテリアで友だちと弁当を食べる) 15:20 授業終わり 週1くらいランチタイムに環境クラブの集まりがありました。放課後は環境クラブの一環で学校の周りの清掃をしました。街の図書館に読み聞かせに行っている友だちもいました。</p>	<p>Q. ホストファミリーはどんな家庭だった？</p> <p>バンクーバーではフィリピン系ファミリーで、2世帯で暮らしていました。とても親切で、子どもたちとたくさん遊びました。毎週末親戚が全員集まって、いとこの子ども達ともよく遊びました。パウエルリバーではカナダ系ファミリーでした。アジア圏からの留学生の受け入れ回数が多い家庭で、理解があつて慣れていました。他の島に住んでいる娘さんと息子さんがたまに帰ってきていました。</p>	<p>Q. 大変だったこと、それをどう乗り越えた？</p> <p>カナダ人の高校生と話した時に、聞き取りもできず、英語で話すことに抵抗がありました。その時に自分の英語力に自信がなくなったけど、自分で一生懸命勉強して乗り越えました。学校でのテキストの他に、日本から持ってきたテキストを使って勉強していました。</p>	<p>Q. 高校留学をして変化したこと、よかったことは？</p> <p>自分から積極的に行動するようになりました。自分から話しかけるようになりました。どんな事にもチャレンジしよう、まずはやってみようと思えるようになりました。日本の家族からは明るくなったね、楽しそうだねと言われました。</p>			
<p>Q. 食事はどうでしたか？</p> <p>朝食:自分で用意していました。スーパーにも連れて行ってくれました。日本でも朝食は各自で用意して食べるスタイルだったので抵抗はありませんでした。 昼食:バンクーバーではホストファミリーが用意してくれました。 パウエルリバーでは前日のご飯を自分で詰めてたり、サンドイッチ作ったりしました。 夕食:基本的にはホストファミリーと一緒に食べていました。</p>	<p>Q. 通学方法は？</p> <p>公共のバスを利用して乗り換えはありませんでした。</p>	<p>Q. 持って行ったほうがよいもの、役に立ったもの。</p> <p>スूपジャー、魔法瓶、洗濯ネット(なかつたら服が傷んで、繊維がボロボロになった)</p>	<p>Q. 現地での無料Wi-Fiは学校や街中でどのくらい使えたか。</p> <p>バンクーバーでは困らないくらいあって、学校にもあった。パウエルリバーでは学校にはあったが、お店も限られているのであまり使えませんでした。</p>			
	<p>Q. カルチャーショックはありましたか？</p> <p>洗濯が週1回と少なかつたです。到着初日にホームパーティーがあり、家族4人と聞いていたのに親戚も併せて20人くらいの大規模パーティーで驚きました。(実際一緒に生活する家族は4人)。</p>	<p>Q. 将来やりたいことや目標は？</p> <p>グローバルな視野を持って社会に貢献出来る人になりたいです。最近では、英語を使ってコミュニケーションするだけでなく、他の言語も勉強して世界中の経済を学び、世界的な視点で物事を考え、海外で活躍できる人になりたいです。</p>	<p>Q. これから高校留学を考えている人へのメッセージ</p> <p>自分の目標をしっかりと明確に持って取り組めば、必ずよい結果に繋がるのでチャレンジしてほしいです。自分自身は「海外を経験したい」という思いで突発的に留学を決めたので、最初に目標を決められていたら、よりそこに向かってできることがあったのではないかと思います。</p>			
<p>Q. おこづかいは月どのくらい使った？</p> <p>バンクーバーでは生活必需品を買うために少し使い、月5,000円程です。 パウエルリバーでは月2,000円程です。買物する場所もないのでお金はほとんど使わず、ホストファミリーから提供されるもので不自由なく暮らせました。</p>	<p>Q. ホームシックにはなりませんでしたか？</p> <p>ほとんどありません。バンクーバーに着いてから留学というものを実感した。見送りに来てくれた家族が、泣きそうだったので、自分も泣きそうになりました。飛行機に乗る前と乗っている間はちょっと緊張してたけど、カナダに着いた瞬間冷静になりました。そこで一段階レベルアップした感じがしました。</p>	 				
<p>Q. 高校で履修した科目</p> <p>数学、美術、バンド(吹奏楽)、ESL(留学生用の英語)</p>	<p>Q. 高校の授業についていけましたか？</p> <p>なんとかついていけましたが、美術は苦手でした。最初はトレーシングペーパーを使っていたので続けられそうだったけど、その後本格的なスケッチになってから一気に難しくなりました。一番仲の良かったドイツの子が絵が得意だったので教えてもらいながら乗り越えました。 数学は中1、中2のレベルだったので、難易度的には大丈夫でしたが、英語での授業&amp;クイズ(小テスト)が多かったので少し大変でした。</p>	 				
<p>Q. 学校の授業でPCは使いますか？持って行った方がよい？</p> <p>ESLの授業でたくさん使いました。パワーポイントを使ったり、エッセイを書くときもありましたので、絶対持って行った方がよいです。</p>		 				
<p>Q. 日本の高校との違いは？</p> <p>シアタールームがあり、発表会の時等に使いました。授業の時間を使って、シアタールームで道徳系の授業を受ける事もありました。(スマホの使い方、倫理問題等) 外部の団体の人が来て行ってくれました。ボランティア活動を積極的に成績に反映してくれました。 授業の進め方はとても自由でした。先生が最初基本的なことを説明して、その後は自分で進めていくという流れでした。</p>	<p>Q. 帰国後の英語力はどのくらい変わった？</p> <p>今は英検2級を取りました。語学学校では留学生も多く、リスニングとスピーキングに慣れたかと思ったけど、高校に行き現地の高校生のスピードについて行けなかった。コロナウイルスの自粛期間中に英語を自分でしっかりと勉強したところ、自粛が開けて、友だちと話した時に話していることが聞けて、話せるようになっていた時に自分自身の成長を感じました。</p>					